

景気動向指数

平成 20 年 5 月分（速報）の概要

5 月の C I（速報値・平成 17 年=100）は、先行指数：92.6、一致指数：103.0、遅行指数：103.9 となった。（注）

先行指数は、前月と比較して 0.2 ポイント下降した。3 ヶ月後方移動平均は 0.16 ポイント下降し、10 ヶ月連続の下降、7 ヶ月後方移動平均は 0.51 ポイント下降し、21 ヶ月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して 1.3 ポイント上昇した。3 ヶ月後方移動平均は 0.60 ポイント下降し、3 ヶ月連続の下降、7 ヶ月後方移動平均は 0.36 ポイント下降し、3 ヶ月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.2 ポイント上昇した。3 ヶ月後方移動平均は 0.16 ポイント下降し、2 ヶ月連続の下降、7 ヶ月後方移動平均は 0.16 ポイント下降し、2 ヶ月連続の下降となった。

一致指数の基調判断

「景気動向指数（C I 一致指数）によれば、景気はその局面が変化している可能性もあるとみられる」という前月の基調判断を変更する状況にはない。

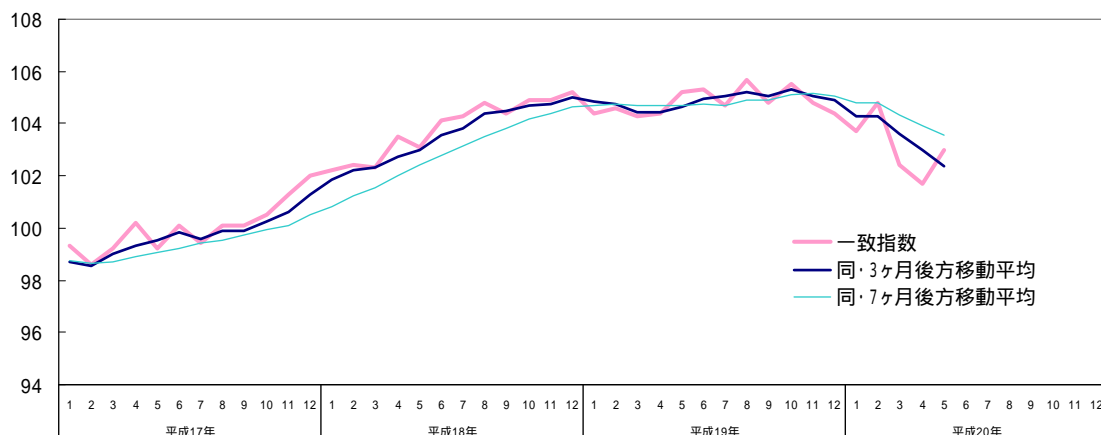
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.36	C11：有効求人倍率(除学卒)	-0.16
C1：生産指数(鉱工業)	0.35	C5：所定外労働時間指数(製造業)	-0.12
C10：中小企業売上高(製造業)	0.35	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.05
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.32		
C3：大口電力使用量	0.24		
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.01		
C4：稼働率指数(製造業)	0.01		
C9：営業利益(全産業)	0.04		

「C4 稼働率指数(製造業)」と「C9 営業利益(全産業)」については、資料本文 2 ページの脚注を参照。
なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移

(平成 17 年=100)



(注) 未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めた。